

桑野塾

桑野塾 検索

<http://deracine.fool.jp/kuwanojuku/>

大学などの研究者に限らず、興味を持って研究していることを自由に発表しあう「広場」です。
どなたでもご参加いただけます。
それぞれの興味が少しずつ重なり合うことで、新たな知見を見いだそうという場です。

第23回

2014年
5月17日(土)
15:00 ~ 18:00

早稲田大学 早稲田キャンパス16号館 820号室

★ どなたでもご参加いただけます。会場に直接お越しください。参加無料。

☆ 終了後、近くの居酒屋で懇親会を開催します。(飲食費は別途)

※予約の都合上、懇親会参加をご希望の方はなるべく事前にご連絡いただくと助かります。

※報告者・タイトルは変更の可能性もあります。ご了承ください。



かつの きんまさ 勝野金政



ソルジェニツィン・ハウス講演会報告

ラーゲリから奇跡の生還を果たし、スターリン体制を告発した“日本のソルジェニツィン”勝野金政(1901-84年)。

今年4月28日、ロシアで初めて勝野を紹介する写真展「ソビエト・ロシア時代のひとりの日本人の運命——スターリンのラーゲリにおける作家 勝野金政」が、モスクワのソルジェニツィン・ハウスで開催された。

そのオープニングを記念して講演した勝野金政の長女・稲田明子さんと加藤哲郎さんによる報告。

80年ぶりのロシア帰還

——作家・勝野金政の使命を届けて

報告者:稲田 明子

勝野金政の長女である稲田明子さんが、今回の講演をなさった経緯と講演の内容について、旅の印象も交えて報告いたします。

革命の消えたロシア、ロックと愛国のメーデー

報告者:加藤 哲郎

1972年、1993年に続いて、ほぼ20年ごと3回目となった今回のペテルブルグ訪問で、その都度レニングラード=ペテルブルグの日本語ガイドの観光案内を聞いてきた経験をもとに、モスクワの愛国メーデー、ソルジェニツィン・ハウスやウクライナ・クリミア問題の印象などを語ります。